

リウマチ・膠原病科

1) 研修スケジュール

- (月) 08:30~/17:00~病棟カンファレンス
- (火) 08:00~08:30 MCC、08:30~/17:00~病棟カンファレンス
- (水) 08:30~/17:00~病棟カンファレンス
- (木) 08:45~回診前カンファレンス・回診、17:00~病棟カンファレンス
- (金) 08:00~/17:00~病棟カンファレンス
- (土) 12:00~病棟カンファレンス

※回診前・病棟カンファレンスで研修医が発表する。
(全受け持ち患者ではない)

2) 到達目標

研修医到達目標		研修前	研修終了時
1.	関節の診察ができ、関節炎の鑑別疾患を列挙できる。		
2.	膠原病を疑ったときのスクリーニングができる。		
3.	膠原病の臓器ごとの疾患活動性を評価できる。		
4.	ステロイドの使い方や副作用のマネジメントができる。		
5.	免疫抑制薬の有害事象や休薬基準を理解できる。		
6.	免疫抑制時の感染症の対応ができる。		

a=十分できる b=できる c=要努力(3段階評価) / ?=評価不能

3) 経験できる疾患や手技

経験できる疾患・症候

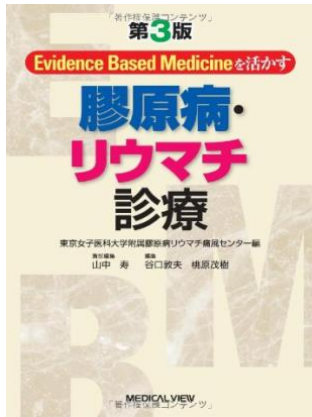
- ・関節リウマチ
- ・全身性エリテマトーデス
- ・皮膚筋炎・多発性筋炎
- ・強皮症
- ・シェーグレン症候群
- ・血管炎症候群
- ・脊椎関節炎
- ・痛風・偽痛風
- ・それぞれの疾患に合併する病態：
間質性肺炎、肺高血圧症、急速進行性糸球体腎炎、眼症状、皮膚症状など
- ・副腎皮質ステロイド薬の副作用：
日和見感染症、骨粗鬆症、糖尿病、高血圧など
- ・希少疾患 (POEMS症候群、ツツガムシ病など)

経験できる手技

- ・採血 (動脈・静脈)
- ・血液培養
- ・関節超音波
- ・関節穿刺
- ・腰椎穿刺
- ・筋生検・神経生検 (他科と合同で)
- ・皮膚生検 (他科と合同で)
- ・中心静脈カテーテル挿入

リウマチ・膠原病科

4) 推薦書籍



難易度

★★★

コメント

全般的なことが基礎から最新の知見まで書かれている。



難易度

★

コメント

関節エコーに関してわかりやすく解説されている。

・ Up to date (Wolters Kluwer社)

☆ Evidence based medicineを活かす膠原病・リウマチ診療 (東京女子医編)

☆ リウマチ病学テキスト 改訂第2版 (日本リウマチ学会編集)

・ 膠原病診療ノート 症例の分析 文献の考察 実践への手引き (三森明夫著)

☆ リウマチ診療のための関節エコー撮像法ガイドライン (日本リウマチ学会編)

☆ 筋骨格注射スキルー注射の原理原則と部位別実践テクニック (羊土社)

☆ Hospitalist (ホスピタリスト) Vol.2 No.2 2014 (特集：膠原病)

☆ 一冊できわめるステロイド診療ガイド (文光堂)

☆ 間質性肺疾患診療マニュアル (南江堂)

・ 体液異常と腎臓の病態生理 第3版

※ ☆ マークは病棟に常備しています。

5) 事前アンケート

1. 学会や研修の予定 (他科も含む)、休み希望があれば教えてください。
2. どのような研修がしたいか希望があれば教えてください。(例; 典型的な症例のみ見たい、シニアと同じように扱ってもらって研修したいなど)
3. 興味のある病態・臓器や将来進む可能性のある科があれば教えてください。(リウマチ性疾患は多臓器にわたるので臓器を絞って症例を担当することも可能です)

6) 自由記載欄 (研修について要望などがあれば記載してください。)

氏名 _____